

守谷市議会だより

KOJUKEI

NO. 208

November 2024

GIKAI DAYORI

11.10



特集

令和5年度決算審査
令和6年度事業評価(提言)

令和5年度会計決算審査



予算が効率よく執行されたのかチェック！

8月29日及び30日に開催した決算予算特別委員会において、一般会計のほか、3つの特別会計、3つの企業会計について決算審査を行い、いずれの会計の決算も認定すべきものと決しました。

歳出決算額

会計名		令和5年度	令和4年度	増減率
一般会計		37,109,996,450 円	31,750,114,509 円	+ 16.9%
特別会計	国民健康保険	5,118,541,836 円	5,124,064,674 円	△ 0.1%
	後期高齢者医療	896,623,267 円	828,291,736 円	+ 8.2%
	介護保険	3,955,009,178 円	3,716,302,476 円	+ 6.4%
	農業集落排水事業	—	23,946,784 円	—
企業会計	水道事業	2,397,744,872 円	1,765,851,723 円	+ 35.8%
	公共下水道事業	3,712,012,112 円	2,829,324,073 円	+ 31.2%
	農業集落排水事業	58,387,513 円	—	—

※ 農業集落排水事業は、令和5年度から地方公営企業法を適用し、企業会計へ移行しました。

決算審査

審査の中でなされた質疑から主なものをご紹介します。

ふるさとづくり寄附金事業

質問 ふるさと納税の寄附金額増額の要因は。

回答 市場規模の拡大のほかに、過去の寄附者への働き掛けなどに注力したことで寄附の増額に結び付いた。

森林環境譲与税基金

質問 残高が増加している基金の今後の活用方針は。

回答 森林の整備や人材育成担い手の確保のほか、木材の利用促進や普及啓発等の施策に充当できるため、各課で新たな活用を検討していく。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

質問 令和5年度のワクチン接種率は。

回答 令和5年4月1日現在の人口に対して、春に実施した接種では31.6%、秋に実施した接種では40.9%であった。

公共交通運行事業

質問 令和4年度決算との比較で事業費が減額となった理由及び今後の見通しは。

回答 地域公共交通計画に係る経費及び地域交通緊急支援金が令和5年度には計上されなかったことが減額の主な要因であり、今後の運行に係る経費については守谷市地域公共交通活性化協議会も含め検討していく。

外国語教育推進事業

質問 成果指標である「英語活動・外国語活動を『楽しい』と感じている児童の割合」が7ポイント減少した原因は。

回答 令和5年度にオンライン英会話を小学校高学年にも拡充し、児童が一对一で自身の思いをうまく伝えられないという状況に直面した結果であると分析しているが、継続していくことで指標も再び改善していく見込みである。

こんなことが決まりました

7月臨時議会と9月定例月議会で話し合われた案件をご紹介します。

議員別賛否一覧表は、こちら



7月臨時



9月定例月

7月臨時議会 市長提出議案 1 件

議案番号	件 名	議決結果
議案第 58 号	令和 6 年度守谷市一般会計補正予算（第 3 号）	可決

9月定例月議会 市長提出議案 27 件、議員提出議案 1 件、請願 2 件、陳情 1 件

議案番号	件 名	議決結果
議案第 59 号	守谷市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第 60 号	守谷市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第 61 号	守谷市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第 62 号	令和 5 年度守谷市一般会計歳入歳出決算認定	認定
議案第 63 号	令和 5 年度守谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定
議案第 64 号	令和 5 年度守谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定
議案第 65 号	令和 5 年度守谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定
議案第 66 号	令和 5 年度守谷市水道事業会計決算認定	認定
議案第 67 号	令和 5 年度守谷市公共下水道事業会計決算認定	認定
議案第 68 号	令和 5 年度守谷市農業集落排水事業会計決算認定	認定
議案第 69 号	令和 5 年度守谷市水道事業会計利益の処分	可決
議案第 70 号	令和 5 年度守谷市公共下水道事業会計利益の処分	可決
議案第 71 号	守谷市印鑑条例の一部を改正する条例	可決
議案第 72 号	守谷市手数料の特例に関する条例	可決
議案第 73 号	守谷市農業委員会の委員及び守谷市農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の一部を改正する条例	可決
議案第 74 号	令和 6 年度守谷市一般会計補正予算（第 4 号）	可決
議案第 75 号	令和 6 年度守谷市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	可決
議案第 76 号	令和 6 年度守谷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	可決
議案第 77 号	令和 6 年度守谷市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	可決
議案第 78 号	令和 6 年度守谷市水道事業会計補正予算（第 1 号）	可決
議案第 79 号	令和 6 年度守谷市公共下水道事業会計補正予算（第 2 号）	可決
議案第 80 号	工事請負契約の締結について（令和 6 年度守谷市立けやき台中学校校舎改修工事）	可決
議案第 81 号	工事請負契約の締結について（令和 6 年度北守谷公民館改修建築工事）	可決
議案第 82 号	工事請負契約の締結について（令和 6 年度北守谷公民館改修機械設備工事）	可決
議案第 83 号	業務委託変更契約の締結について（守谷市立公民館における証明書等の交付請求の受付及び引渡し業務）	可決
議案第 84 号	茨城租税債権管理機構規約の変更について	可決
議案第 85 号	守谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
受理番号第 2 号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	趣旨採択
受理番号第 3 号	脳脊髄液減少（漏出）症医療改善を求める意見書を国及び県に提出することを求める請願	採択
受理番号第 4 号	内守谷工業団地に隣接する板戸井地域の土地利用転換に関する陳情	採択
議員提出 議案第 6 号	脳脊髄液減少（漏出）症医療改善を求める意見書	可決

9月
定例

総務教育

常任委員会



議案第74号 令和6年度守谷市一般会計
補正予算（第4号）に関連した以下の項目について報告します。

ピックアップ

①

令和7年度から始まる特定地域選択制度※に伴い、以下の業務委託について債務負担行為を設定し、年度当初から円滑に運営できるよう本年度中に契約します。

※松並青葉地区に居住する児童が就学する小学校を複数校から選択できる制度

○ スクールバス運行業務委託

スクールバス利用人数の確定により、必要な台数のバスを確保します。

○ スクールバス送迎ステーション業務委託

特定地域選択制度を利用して変更した学校で児童クラブを利用する児童が、守谷駅周辺で保護者の迎えを待つステーションを設置します。

○ スクールバス乗降管理システム業務委託

降車忘れによる事故を未然に防止するシステムを導入します。

Q スクールバス乗降管理システムとは。

A 児童の降車忘れを防止するほか、日によって変動する乗車児童を確実に把握できるシステムです。

ピックアップ

②

公民館運営管理事業

館内の不審者対策等、利用者及び管理者の安全を確保するため、中央公民館及び高野公民館に防犯カメラを設置します。

Q 防犯カメラの設置台数は。

A 中央公民館の1階に3台、2階に2台。高野公民館の屋外、1階、2階に各1台を設置する。

9月
定例

都市経済

常任委員会



ピック
アップ

①

議案第71号

守谷市印鑑条例の一部を改正する条例

マイナンバーカードの新たな活用方法として、スマホ用電子証明書を用いて印鑑登録証明書のコンビニ交付が可能となるよう条例の一部を改正します。

ピック
アップ

②

議案第72号

守谷市手数料の特例に関する条例

マイナンバーカードの利活用促進を目的に、期間限定で諸証明書のコンビニ交付手数料を減額するために条例を制定します。

【期間】 令和6年10月1日～令和7年9月30日

手 数 料	1件当たり 金額
①住民税課税・非課税証明手数料	100円
②所得証明手数料	100円
③戸籍の謄本・抄本の交付又は戸籍証明書の交付手数料	350円
④住民票交付手数料	100円
⑤戸籍の附票交付手数料	100円
⑥印鑑登録証明手数料	100円

証明書コンビニ交付サービスの詳細はこちら



9月
定例

保健福祉

常任委員会



ピック
アップ

①

受理番号第3号

脳脊髄液減少（漏出）症医療改善を求める意見書を国及び県に提出することを求める請願

請願提出者に参考人として出席を求め、意見陳述及び質疑への回答をいただきました。

請願の趣旨

脳脊髄液減少（漏出）症は診断が難しく完治することがないため、医療体制の改善を求める。

参考人への質疑

Q 発症の原因は。

A 転倒が原因となることが多く、先天的に体内の組織が脆弱な場合に発症しやすい。

Q 難病指定が進まない理由は。

A 診断基準が研究段階であり、難治性の症例については研究もされていない。

審査結果

採択（請願や陳情について、議会として賛同の意思決定をすること）

ピック
アップ

②

議案第85号

守谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険法の改正により、マイナンバーカードと被保険者証が原則一体化されることに伴い、被保険者証の返還要求に応じない者に対する罰則規定が不要となるため改正を行います。

一般質問

ズバリ！ 市政を問う！

2024年9月
定例会議会

9月10日・11日・12日に、市政に関する一般質問が行われました。今回は15人の議員が通告順に一般質問を行いました。

一般質問を行った議員

1日目（9月10日）

高梨 恭子
議員



妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援

山本 広行
議員



中高年の発症予防と青少年の自然教育の充実を

山田 美枝子
議員



給食費無償化について

菊地 詩子
議員



市民に寄り添うサービスを

梶岡 香織
議員



解体費用を見積もらず44億円もの公金の支出は遺憾

2日目（9月11日）

椎名 愛子
議員



11/17 守谷市長選挙の投票率向上を目指して他

小菅 勝彦
議員



守谷市の農業と学校給食

青木 公達
議員



自治公民館補助金と協働のまちづくり助成金について

渡辺 秀一
議員



入札、一般市民からみると違和感を抱くと思うが

長谷川 信市
議員



守谷市の未来

3日目（9月12日）

海老原 博幸
議員



松ヶ丘六丁目一番地の一体的利活用について問う

滝川 竜雅
議員



守谷市のシティプロモーションについて

首藤 太亮
議員



守谷市の今後の水道事業について

渡辺 大士
議員



守谷市に魅力的な公園を

田中 啓一
議員



屋外広告看板設置について

録画映像
配信中

議員の顔写真横のQRコードを読み取ると、一般質問の録画映像をご覧くださいことができます。

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援



高梨 恭子 議員



Q 守谷市妊産婦子育て応援助成券の導入時期と利用状況は。

A 母子手帳交付時から子どもが2歳になるまで使える700円券10枚をタクシー利用とファミリーサポートセンター利用を対象に令和4年度から配布。多くがタクシー利用であり、令和4年度626件、令和5年度は1,267件。令和6年度からは、あそびの森もりっ子及び地域子育て支援拠点での利用も可能にしたため、少額の利用を想定し、500円券10枚と100円券20枚とした。

Q この券をあそびの森もりっ子等で利用できるなら、既に配布している方の未使用券の券種を交

▼ 今回の通告事項

- 1 妊娠期から子育て期の支援について
- 2 改正障害者差別解消法について

換できないか。

A 助成券の利用範囲を広げるのに合わせて要綱改正を検討する。

Q あそびの森もりっ子の利用状況と予約システムの改善状況について。

A 昨年12月にオープンし4か月間で10,086人が利用。2月にはキャンセルを、6月には当日予約を可能にするシステム改修を行った。



保健センター2階「あそびの森もりっ子」

中高年の発症予防と青少年の自然教育の充実を



山本 広行 議員



Q 带状疱疹ワクチンが国で定期接種化に進んでいるが、県内他市町村の公費助成の動向も踏まえた現状は。

A 50歳から80歳までの各年代における費用対効果も良好であるとの知見が示されている。県内の15市町村で独自の助成をしている。

Q 国が定期接種化した場合、助成対象年齢の引上げや助成額の減少が懸念されるが、市の考えは。

A インフルエンザや新型コロナと同様にB類疾病の該当となると、3割程度の地方交付税措置となるので、現状では国の制度にのっとり実施していく考えである。

Q 市長の見解は。

▼ 今回の通告事項

- 1 带状疱疹ワクチン公費助成について
- 2 守谷野鳥のみちのこれからについて

A 副作用等の懸念があったので、慎重に検討してきた。予防的観点からは50歳からの助成が望ましいと思うが、生ワクチンと不活化ワクチンの有効性、組合せ等も踏まえ詳細に調査した上で、来年度の新規事業化に向けて検証していきたい。

Q 野鳥のみちを利用された方のご意見は。

A 「自然に溶け込み心が休まる」「ボランティアの手作りといわれても信じられない」「未来の子供たちのために残したい」等がある。

Q 愛宕中学校だけでなく、市内小中学校の児童生徒への教育面で自然と触れ合える機会の創出は。

A 野外学習や市民ボランティアとの合同ガイドの実施も考えられる。

給食費無償化について



山田 美枝子 議員



Q 守谷市の耐震改修促進計画の内容とその取組は。

A 市内の建築物等の耐震化を推進することを目的の一つとして平成2年8月に策定し、耐震化対象は昭和56年以前の旧耐震基準の建築物である。また、耐震安全性の啓発、知識普及の目的で揺れやすさマップや大規模盛土造成地マップをホームページ等で周知し、令和4年度からは危険ブロック塀の撤去費用助成事業を実施している。

Q 耐震診断の診断費の補助は、なぜ今行われてないのか。

A 平成18年度から3か年行っていた。平成20年度には補助件数5件まで減少し、補助事業を終了した。なお、住宅の耐震化率は平成30年

▼ 今回の通告事項

- 1 耐震改修促進計画等について
- 2 給食費無償化について
- 3 市長のタウンミーティングの結果について

時点で97.8%となっている。

Q 公立小中学校に通う児童生徒の父母にかかる費用負担は、現在どのくらいか。

A 小学校入学時は、ランドセル、体操服、上履き、給食セット等に約9万円。入学後は、給食費、PTA会費、児童会費、教材費のほか、遠足や修学旅行の費用など6年間で約54万円。中学校3年間の費用は、約57万円となる。

Q 全国で491の自治体が給食費無償化に踏み切っている。守谷市でもすべきではないか。

A 基本的には市費負担になる給食費の無償化は考えていない。やるのであれば国が率先して無償化をすべきである。

市民に寄り添うサービスを



菊地 詩子 議員



Q 1か月に市役所窓口を利用される難聴者の人数は。また、どのように対応しているのか。

A 市役所全体で1か月30件程度。難聴の方と判断した場合には、大きな声ではっきりと聞こえるように、また、ゆっくり話すようにしている。一部窓口では、筆談等の希望を申し出やすいように「耳マーク」のプレートを設置し、対応できるように心がけている。

Q 耳周辺の軟骨を振動させて音を伝える「軟骨伝導イヤホン」があるが、市役所窓口への導入の考えは。

A 来庁者の利便性の向上に努める必要がある。既に導入している自治体の実績や効果を検証して

▼ 今回の通告事項

- 1 難聴者等への窓口対応について
- 2 高齢者等緊急通報サービスについて

検討したい。

Q 「ひとり暮らし高齢者等緊急通報サービス」の利用人数は。

A 利用者は令和5年度末で329人である。

Q サービスの対象とならない方からの利用相談はあるのか。

A ひとり暮らしではない高齢者やその家族からの問合せがある。個別の状況を伺い、特に必要と判断した場合は利用いただくこともある。

要望 高齢者ひとり暮らしの方だけでなく、日中独居になる方や心配を抱える高齢夫婦も利用できるよう、サービス対象枠を拡大していただきたい。

解体費用を見積も らず 44 億円もの 公金の支出は遺憾



梶岡 香織 議員



Q アジュール跡地について、建物利用、更地利用
どちらを想定して購入したのか？

A 建物利用、更地利用ともに考えていた。

Q 更地利用の場合、解体費の見積もりは？

A 行政側で解体費用の算出はしていない。

意見 取得時に算出していないとのことだが、市の所有となり、将来のために残す資産とするならば、しっかりと調査し、把握する責任がある。

Q 期限が迫っているという理由だけで、不動産鑑定も入れずに、44 億円という多額の公金を使って購入する明確な目的、計画はあったのか。

A ふるさと納税の寄附金を原資に将来に残す資産とするため、新たな公共用地として取得した。

▼ 今回の通告事項

- 1 松ヶ丘六丁目について
 - 2 4年ごとに1,760万円支給される市長退職金
 - 3 待機児童と駅前送迎保育ステーション
- 他2件

意見 相場価格が30億円強とも言われている物件を44億円で購入するならば、公共交通、高齢者福祉、子育て支援といった目の前の住民課題の解決にまず予算を振り分けるべき。

Q 4年ごとに1,760万円支給される市長退職金の廃止や変更については、市長次第か？

A 市長の判断だと考える。

Q 他市における市長退職金の実質廃止事例は。

A 県内では令和2年に、つくば市長が退職手当を限りなくゼロに近づけた事例がある。

11/17 守谷市長 選挙の投票率向上 を目指して他



椎名 愛子 議員



Q 11/17（日）の市長選挙の目標投票率は。

A 前々回の50.41%以上を目標にしたい。

Q イオンタウン守谷への期日前投票所の設置は可能か、本年3月の同質問の進捗を伺う。

A 買物ついでに投票する有権者も一定数見込め、投票率の向上に期待できる可能性はあるが、恒常的な場所の確保や選挙管理委員会書記の人員配置等の問題を解決できていないこと等から、今回の市長選挙におけるイオンタウンへの期日前投票所の設置はできない。

要望 PRや周知等の選挙の認知度向上のための取組だけでなく、有権者の利便性の向上・投票しやすい環境づくりのための取組をお願いします。

▼ 今回の通告事項

- 1 市長選における投票率向上について
 - 2 校内FSに対する教育現場の認識について
 - 3 学校における働き方改革について
- 他1件

Q 校内FS(校内フリースペース)利用児童生徒と接する際のガイドライン等はあるのか。

A 守谷市不登校支援教室「FS支援員」配置事業概要や保護者のための冊子等を活用している。内容を教職員で共有し、ひとりひとりの児童生徒のケースに応用してきめ細やかに対応したい。



11/11 から市役所にて期日前投票できます。

守谷市の農業と 学校給食



小菅 勝彦 議員

Q 守谷市の認定農業者数、農家数、青年等就農計画制度による就農者数の推移は。

A 認定農業者数は、令和元年 44 人、令和 2 年 40 人、令和 3 年 37 人、令和 4 年 39 人、令和 5 年 37 人。農家数は、平成 12 年 581 戸、平成 17 年 479 戸、平成 22 年 425 戸、平成 27 年 346 戸、令和 2 年 275 戸。青年等就農計画制度による就農者数は、令和元年から令和 4 年が各 2 人、令和 5 年が 1 人。守谷市の農業者数は減少傾向となっている。

Q 市内ではいろいろな農作物が採れるが、農業者はどのような場所で販売しているのか。

A 常磐自動車道上り守谷サービスエリアのや

▼ 今回の通告事項

- 1 守谷市の農業政策について
- 2 守谷市の学校給食について

さい村、市内のカスミ、取手市やつくばみらい市の JA 茨城みなみ直売所等で販売している。また、一部の農作物は学校給食にも使用されている。

Q 1 日当たりの給食提供人数は何人になるか。

A 月平均で児童 4,141 人、生徒 1,895 人、教職員等 527 人の合計 6,563 人に給食を提供している。

Q 1 食当たりの価格は。

A 令和 5 年度決算額で積算すると、賄い材料費が約 4 億 1,321 万円、年間提供日数と給食提供人数で割り返すと、1 食当たり 311 円の食材費がかかっている。保護者負担の給食費は、1 食当たり小学生 230 円、中学生 240 円であり、差額に公費を充て、保護者の負担軽減に努めている。

自治公民館補助金 と協働のまちづくり 助成金について



青木 公達 議員

Q 自治公民館への補助金の交付対象事業は。

A 新築・改築・増築・修繕の 4 事業を対象としている。新築は、50㎡以上の建物を建築するもの。改築は、既存の建物を滅失又は除去後、新たに建築するもの。増築は、既存の建物の床面積を増加させるもの。修繕は、建物の一部分や建物に設置する電気、ガス、給排水等の建築設備等の補修等で、10 万円を超えるもの。また、建設時に当該補助金を利用した箇所の修繕は、交付から 5 年を経過するものが対象である。

Q 補助金申請期間の設定はどのようにしているか。

A 毎年、広報もりや 6 月 10 日号への記事掲載後から 7 月末までとしている。

▼ 今回の通告事項

- 1 自治公民館建設補助について
- 2 協働のまちづくり推進活動助成金について

Q クーラーが猛暑の 8 月上旬に壊れた場合、最低 1 年待ち、下手をすると 2 年待ちとなるのか。

A 設置状況や緊急性等を考慮して対応している。

Q 協働のまちづくり推進活動助成金を交付しているが、助成の対象活動は。

A 1 つ目は、おおむね 2 時間以上の作業で市長が公益上必要であると認めるもの。2 つ目は、地域住民による防災訓練で、全市民を対象する訓練や助成金等を受けている活動を除くもの。

Q シルバー人材センターへの助成金は。

A 「守谷市高齢者就業機会確保事業費等補助金交付要綱」に基づき市から 300 万円、そのほかに国庫補助金 300 万円が交付されている。

入札、一般市民からみると違和感を抱くと思うが



渡辺 秀一 議員



Q 市内のSランク業者数は2社であるが、令和元年度から現在までのSランク以上の入札回数は。

A 土木建築工事の令和元年度から現在までSランク以上を対象とした入札件数は10件である。

Q この入札10件での市内Sランク業者の落札取得率と請負率（予定価格に対しての落札額）は。

A 土木建築工事の令和元年度から現在までのSランクが対象の入札案件10件に対し、市内Sランク業者の入札取得件数8件、取得率80%。対象となる入札での請負率は全体平均で96.8%である。

Q この状況に担当課は課題があると思うか。

A 公平公正に実施した結果であり、特に課題はな

▼ 今回の通告事項

- 1 入札について
- 2 土塔中央保育所について

いと考えている。

Q 令和元年度から現在までSランク以上を対象とした落札額合計は54億1,923万円である。仮に10パーセントの競争原理が働いたとしたら、6年間で5億2千万円の経費が削減できたと考えられる。やはり、一般市民からみると違和感を抱くと思うが、市長はどのように考えるのか。

A 一般競争入札の結果というのは、競争の結果であると認識をしている。

守谷市の未来



長谷川 信市 議員



Q （仮称）守谷SAスマートIC周辺土地区画整理事業の進捗は？

A 業務代行予定者（戸田建設）が地権者の合意形成を目的として個別訪問、進捗状況の説明、土地利用意向の確認を行っている。市は、市街化区域編入について関係機関と調整を行っている。

Q 農地の市街化区域編入は、国（農政局）との協議が必要と思うが協議の状況は。

A 資料を県に提出し、現在協議を進めている。令和8年度に事業に着手するためには、今年度中に国の了解を得ることが必要である。

Q 区画整理事業の完了予定はいつ頃になるのか。

A 令和16年度中に工事が完了し、令和17年度

▼ 今回の通告事項

- 1 守谷SA周辺土地区画整理事業について
- 2 守谷市の安心、安全について

には換地処分の予定になっている。

Q 安心、安全について災害時のプライバシー保護の観点からRV協会（キャンピングカー）と災害協定を結んではどうか。

A さらに防災力の強化を目指し、RV協会との協定について検討に入る。



令和4年10月2日開催（仮称）守谷SAスマートIC周辺土地区画整理事業 地権者説明会資料より抜粋

松ヶ丘六丁目一番地の一体的利活用について問う



海老原 博幸 議員



Q 令和5年12月定例月議会での私の一般質問の中でアクロスモール側の土地の利活用についての話がありました。もともと松ヶ丘六丁目一番地は一つの街区として大学等を誘致しようとした経緯があり、アクロスモール側の土地建物の所有者が大和ハウス関連会社ということもあり、既に数回話し合いをしているとのことだった。街区8haの利活用とはどのようなことを考えているのか。

A 昨年末に、隣接する商業施設の土地建物の事業者から取得した土地の状況を伺いたいとのことで、話をした経緯がある。8haの土地を一体的に複合的に利用が図られれば、そのポテン

▼ 今回の通告事項

- 1 松ヶ丘六丁目市有地の利活用について
- 2 守谷市のコンパクトシティ構想について
- 3 30年後のランチ守谷敷地の活用方法

シャル、魅力的価値等は増すだろうという話はさせていただいた。今後も情報交換をお願いしたが、具体の検討には至っていない。

Q 説明を聞いて、8haの街区を市役所と企業が別々で開発するより、例えば企業が建物を建ててそこに市役所が入るといったこともあり得ることか。

A 官民連携の様々な手法の中で、そういう可能性もあり得る。

Q 隣接する土地の購入を考えているのか。

A 取得する予定はなく、先方との情報交換の中でも、取得についての話は一切ない。

守谷市のシティプロモーションについて



滝川 竜雅 議員



Q 現在の守谷市のシティプロモーションは。

A 今年度は、市のイメージキャラクター「こじゅまる」を活用した絵本の制作や市内に在住、在勤、在学の方を対象とする「守谷PR社」を立ち上げ、市民目線で市の魅力を新たな視点で情報発信していく。

Q シティプロモーション戦略プランについて。

A 来年度には、戦略プランの改定を考えている。この改定に伴って、今後のプロモーションの方向性や推進体制を再度検討していく。

Q イメージキャラクターこじゅまるについて。

A こじゅまるの着ぐるみ運用のガイドラインを作成した。まずは、各課へ貸し出し、多くのイベ

▼ 今回の通告事項

- 1 守谷市のシティプロモーションについて

ントで見えていただけるようにしっかりPRをしていく。民間企業への貸出しは現在予定していないが、今後検討していく。

Q 守谷市のインナープロモーション、アウトタープロモーションについて。

A 今年度は、地球の歩き方茨城版の発行が予定されており、その取材等も現在受けている。特にアサヒビールの協力を得て、特集ページの掲載を依頼し、市外者に向けた守谷市のPRも調整をしている。来年度は、つくばエクスプレスが開業して20周年のため、首都圏新都市鉄道株式会社と連携してPR、プロモーションにつながる取組に向けて調整を進めている。

守谷市の今後の水道事業について



首藤 太亮 議員



Q 守谷市内の不登校児童生徒数について

A 令和4年度は小学校108人、中学校125人、令和5年度は小学校75人、中学校135人、本年度は7月末現在で小学校43人、中学校74人となっている。

Q スクールソーシャルワーカー導入の経緯は？

A 導入の経緯として、増加傾向にある不登校やいじめ等の問題を抱える児童生徒、保護者に積極的に働きかけ、学校・家庭・関係機関を密接につなぎ、市総合教育支援センターの相談業務を担う一つとして導入した。

Q 今後、人口減少に伴い水道事業の経営状況の悪化は免れないが、水道水の安定供給のためには、

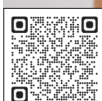
▼ 今回の通告事項

- 1 不登校問題について
- 2 市内中学校の現状と今後の対策
- 3 水道事業について

水道を利用する企業の誘致が必要だと思うがどう考えているか。

A 水道事業は独立採算の企業会計であり、上下水道施設運転管理等包括業務を10年間の長期的な契約として、安定供給及びコスト削減に努めている。一方で、新たな需要の喚起のため、固定資産税や償却資産税だけではなく、多くの水道を使っていただける企業を誘致するということは、議員おっしゃるとおりだと思う。新守谷駅やサービスエリア周辺の区画整理事業による新たな企業立地に関しては、そのような観点を含め営業している。

守谷市に魅力的な公園を



渡辺 大士 議員



Q 全ての公園の把握は難しいと考えるため、都市公園の利用状況及び季節ごとの傾向を伺う。

A 申請ベースでの直近5年間の件数及び人数は、令和元年度が1,058件で58,095人、令和2年度は906件で24,298人、令和3年度は964件で27,090人、令和4年度は1,178件で33,790人、令和5年度は1,245件で63,369人。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、令和5年度が件数、人数ともに5年間で最多となっている。季節ごとの傾向は、過去5年間の合計では4～6月が1,577件で47,347人、7～9月が962件で58,950人、10～12月が1,749件で

▼ 今回の通告事項

- 1 市内公園施設の現状について
- 2 利用状況について
- 3 今後の公園の在り方について

73,790人、1～3月が1,063件で26,552人で、秋の利用が多い傾向となっている。

Q 夏場は気温が高く、イベント以外の利用が少ないため、公園に開閉式の屋根を導入するなど機能向上が必要だと考える。これからの公園の在り方についてどう考えるか。

A 議会の皆様をはじめ、多くの市民の皆様の意見を聞く場を設けながら20年後、30年後にこれがあってよかったねというような公園づくりをしていきたい。夏場の利用という点では室内という選択肢もあるかと思うが、日陰をつくる、又は緑の中で遊ぶなど多様な遊び方、多様な公園づくりを目指していきたいと思う。

屋外広告看板設置 について



田中 啓一 議員

▼ 今回の通告事項

- 1 屋外広告物の定義について
- 2 設置違法な屋外広告物について
- 3 違法看板を設置した者への追及について

他5件

Q 市内に数多く設置されている屋外広告物の定義について伺いたい。

A 屋外広告物とは、常時又は一定の期間継続して屋外で公衆に表示されるものであり、看板や貼り紙、広告板、建物その他の工作物に掲出されたもの。また、建物の外側に表示されている文字やシンボルマーク写真、住宅の表札なども基本的に屋外広告物に含む。

Q 今年6月に市職員が撤去した看板の内容及び違法看板と判断した根拠は。

A 6月に撤去した看板は、政党名及び当該政党幹事長の氏名、日時、場所等が記載された看板であり、街路樹や電柱など禁止物件に設置されて

いたこと、屋外広告物の許可申請がなかったこと及び道路を不当に占用していたことから違法と判断した。

Q 基本的に、法令違反をした取り付けた人間が自分の責任をもって回収すべきであるが、看板設置をした側への追及について、今後どのように対応するか伺いたい。

A 設置者が特定できていないため法的措置が取れていないというのが現状である。市としては、設置者が自ら申し出ていただきたいが、現時点では申し出る者がいない。設置者の特定は看板に記載された政党で実施していただきたい。

用語解説

市政に関する一般質問において使われた用語について、解説します。

守谷野鳥のみち
(9 ページ)

—

守谷市観光協会やボランティアにより整備されている、森の冷気と落ち葉の感触を味わいながら土のみちを歩く「林間コース」と本格的な手づくり木道で緑の空間を味わう木のみちを歩く「湿地コース」を総称した散策路。この湿地コースに新たに城址ルート 320m が整備され、11/10 に一般供用開始が予定されている。



ひとり暮らし高齢者
等緊急通報サービス
(10 ページ)

—

守谷市のひとり暮らし高齢者等が自宅内において、急病や事故等のため救助を必要とするときに通報するための緊急通報装置を貸与する制度



青年等就農計画制度
(12 ページ)

—

新たに農業を始める方が作成する青年等就農計画を市町村が認定し、その計画に沿って農業を営む就農者に対して重点的に支援措置を講じる制度



行政視察の受入実績



市議会及び市の各種事業について、行政視察の受入れを行っています。今年度これまでに受け入れした6件の実績をご紹介します。

福井県鯖江市議会

(7月3日)

守谷市シティプロモーション
戦略プランの概要について



兵庫県朝来市議会

(7月17日)

未来の教育もりやビジョンについて



愛知県安城市議会

(7月19日)

上下水道施設管理等包括業務委託について



茨城県鉾田市議会

(8月5日)

自治会・町内会の運営・加入促進について
市民協働のまちづくりについて



埼玉県深谷市議会

(10月1日)

未来の教育もりやビジョン 2024
(ニューノーマル2) について



岡山県津山市議会

(10月3日)

未来の教育もりやビジョン 2024
(ニューノーマル2) について



視察研修視察研修受入れ実績は、こちらからご覧いただけます。



事業選定から評価までの過程では、常任委員会を単位とした3つの分科会に分かれ、専門的に調査研究を行いました。

1 総合教育支援センター事業(不登校問題) 総務教育分科会

事業概要

多様化する教育課題（不登校・いじめ・発達障がい等）に対応するため、「教育相談事業」「適応指導教室事業」「小学校心の教室相談員配置事業」を統合し、平成28年4月に総合教育支援センターを開所

提言内容

同一校内にフリースペースがあることにより、児童生徒がすぐに普通教室に移動できるという物理的距離感が重要。各学校にフリースペースを拡充することと指導員と補助員の二人体制への改善を提案する。



2 公共交通運行事業 都市経済分科会

事業概要

市内循環コミュニティバス「モコバス」の運行
デマンド乗合交通の運行

提言内容

【過去の事業評価】

市内循環コミュニティバスについては、平成24年度の守谷市議会重点事業評価の中で9,000万以上の費用をかけないようにする。となった経緯があり、デマンド交通の整備とともにバスの減便や、運行ルート減を経て令和6年8月現在も、その予算枠の中で運用している。

【平成24年当時】

- ・人口約64,000人その内、高齢者は約15%
- ・インフレ率は-0.05%

【令和6年現在】

- ・人口約70,000人その内、高齢者は約24%
- ・インフレ率は+3.27%

このような守谷市の人口、社会的情勢の変化、そして高齢化率の増加も鑑み、予算の上限を撤廃し、バスの増便、ルート増、デマンド交通の強化による公共交通の充実を提言する。

なお、予算の上限は撤廃するが引き続き、効率的な運営をしていくことを望む。



令和6年度守谷市議会事業評価

決算予算特別委員会に付議された事件として、市事業から4事業を選定し調査研究及び評価を実施しました。そして、その結果を提言書としてまとめ市長へ提出しましたので、それぞれの提言の内容をご紹介します。

3 自転車駐車場維持管理事業

都市経済分科会

事業概要

新守谷駅及び南守谷駅に整備した自転車駐車場の維持管理を行う。

提言内容

平成 30 年度に閉鎖した北守谷第 1 自転車駐車場の今後の利活用について

- ・現状建物は老朽化から使用不可
- ・児童誘拐などの犯罪が起こる可能性を危惧する声が周辺住民からある。

上記の事から早期の解体を提言するとともに取り壊し後は都市計画の用途変更も検討し、その後の利活用を望む。



4 保育人材確保事業

保健福祉分科会

事業概要

不足している保育士等の人材を確保できるよう、市内事業所との協働による就職説明会及び新たに雇用された常勤保育士等に対する助成（7千円×12か月／人）事業

提言内容

複数の保育園への聞き取り調査の結果、市内事業所との協働による就職説明会は有益であるものの、常勤保育士等に対する助成金については、以下の理由から目的が適正に達しているとは言えない状況である。

- 1 助成金額が近隣市町村と比較して少額であり、さらに給付期間が12か月に限定されているため、守谷市内での長期的な勤務を促す動機付けになっていない。
- 2 助成対象が主に保育士とされており、園内で働く助成対象とならない職員に不公平感を抱かせる要因となっている。
- 3 助成制度の周知が十分ではなく、この助成金の存在が市内保育園への就職の動機に結びついていない。
- 4 助成金が支払われる時点で、すでに市内の園に従事していない事例が発生している。

また、保育士が守谷市内で働く動機としては、給与面の優遇だけでなく、時間外勤務が少なく休憩や休暇が十分に取れるなど、ワークライフバランスが整っていることが非常に重要である。そのためには、園は保育士定数を上回る十分な人員の確保を図る必要があり、それが保育士の働きがい、ひいては保育の質の向上につながる。

したがって、市内事業所との協働による就職説明会を継続しつつ、常勤保育士等に対する助成金については早急かつ抜本的に見直すよう提言する。

具体的には、保育士定数を超えて人員を確保した保育園に対し、その人数に応じて人件費の一部を助成する制度を設けることで、保育士の十分な確保を促し、結果として、保育士の働きがいや働き続ける意欲の向上及び保育の質の向上につながると考える。



議員が紹介する

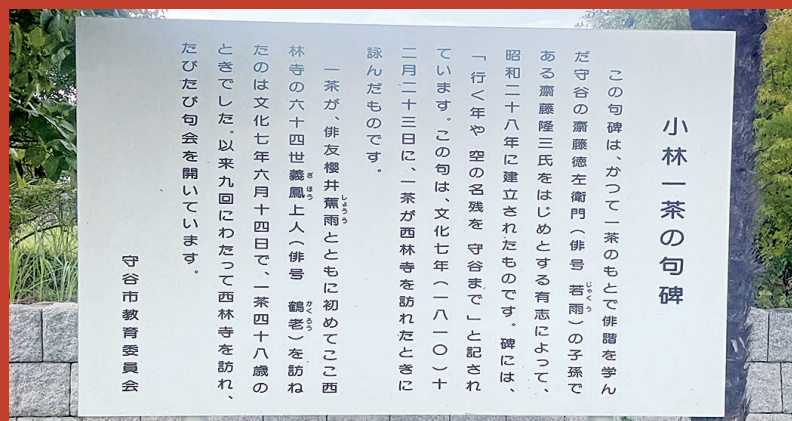
西林寺（本町）

おすすめスポット



守谷郵便局の近くにある西林寺は、小林一茶ゆかりの寺としても知られています。一茶は文化7年（1810、一茶 48 才）にこの寺を訪れ、しばらく滞在したといひます。その後も何度か一茶はこの寺を訪れたようです。寺には一茶の『行く年や 空の名残を 守谷まで』の句碑があります。

春になると、境内の見事なしだれ桜がまた風情があります。是非、お散歩がてら訪れてみてください。



小林一茶の句碑

この句碑は、かつて一茶のもとで俳諧を学んだ守谷の齋藤徳左衛門（俳号 若雨）の子孫である齋藤隆三氏をはじめとする有志によって、昭和二十八年に建立されたものです。碑には、「行く年や 空の名残を 守谷まで」と記されています。この句は、文化七年（一八一〇）十二月二十三日に、一茶が西林寺を訪れたときに詠んだものです。

守谷市教育委員会

令和 6 年 12 月定例月議会 会期日程（予定）

※日程は変更になる場合があります。詳しくは、守谷市議会事務局までお問い合わせください。

日	月	火	水	木	金	土
12/8	9	10	11	12	13	14
			開会 上程・質疑 10:00～	総務教育常任委員会 10:00～	都市経済常任委員会 10:00～	休会
15	16	17	18	19	20	21
休会	保健福祉常任委員会 10:00～	休会 (議事整理日)	本会議 一般質問 10:00～	本会議 一般質問 10:00～	本会議 一般質問 10:00～	休会
22	23	24	25	26	27	28
休会	本会議 一般質問 10:00～	休会 (議事整理日)	閉会 討論・採決 10:00～			

※請願・陳情の提出締切は 12/3 です。12 月定例月議会での審議を希望する場合は、締切日までに議会事務局へ提出してください。内容に不備がある場合には、修正等をお願いする場合があるので、日程に余裕をもって提出してください。

傍聴するには？

本会議と委員会は、受付票に住所・氏名を記入していただくだけで、どなたでも傍聴することができます。

本会議傍聴

市役所議会棟 3 階の傍聴席入口前に受付票がありますので、各自記入して入場してください。出入りは自由です。定員は 53 人で先着順です。

委員会傍聴

開会時間の 10 分前までに、市役所議会棟 2 階の議会事務局で受付をしてください。定員は 5 人で先着順です。

議会を知る



<https://www.city.moriya.ibaraki.jp/gikai/index.html>

